

1、2 年生 GS 科 特設科学 [SLIM～小型月面着陸実証機～]

12 月 1 日（月）、三菱電機株式会社、三菱電機エンジニアリング株式会社の皆様をお招きし、「SLIM～小型月面着陸実証機～」について、1、2 年生 GS 科の生徒を対象にご講演いただきました。

月面探査機の着陸精度の向上に至るまでの試行錯誤について分かりやすく解説いただき、また、実際に月面にいるかのような VR 体験も実施していただきました。これからも様々な講演を通じて、新たな知識を獲得してくれることを期待します。



生徒たちの声

三菱電機の SLIM に関する講義は、製造現場の課題をどのようにデジタル技術で解決していくのかを具体的に理解でき、とても学びの多い内容でした。実際の導入事例やデータ活用の流れが丁寧に説明され、ものづくりの現場が今後どのように進化していくのかを強く実感できました。特に、自動化だけでなく人と機械が協力する仕組みに焦点を当てていた点が印象的でした。

SLIM に関する講義を受け、月面着陸技術の最前線がどれほど精密で高度なものなのかを理解できた。特に、SLIM が「ピンポイント着陸」を実現するために採用した画像マッチング技術や、従来の探査機とは異なる軽量化設計の工夫など、日本独自の技術力が凝縮されている点が非常に印象的だった。講義の中で説明された誤差数キロから誤差数十メートルというレベルへの着陸精度の向上は、数字として理解する以上に難しいことだとわかった。

僕は宇宙に興味があったので今回の特設科学講座はとても面白かったです。月についてでも、ピンポイント着陸などとても精密な精度だと感じました。また、月の裏側とか、月面の様子などとても興味のあることの真相をだいぶ明かしてくれた感じがしておもしろかったです。ケプラーの第二法則などの専門的な知識も知れて勉強になりました。僕も宇宙に関連した仕事につきたいと思っているので、もっと月や宇宙のことについて学んでいきたいです。

JAXA の SLIM プロジェクトの講義を通して、日本の月面探査技術の高さと挑戦心を強く感じた。特に「ピンポイント着陸」という世界的にも難易度の高い技術に挑む姿勢は、研究開発の重要性を再認識させてくれた。失敗を恐れず試行錯誤を重ねるプロセスは、今後の宇宙探査の未来を切り開く力になると感じた。技術だけでなく、探査に込められた使命や意義を知り、宇宙研究への興味がさらに深まる講義だった。

今回の講義を通して宇宙について関心が深まりました。今後も技術が発展していけば人々が月に行くことが出来ることも夢じゃないのではないかと思います。普段は体験出来ることの無い VR 体験を通して、月の岩石や SLIM をとても近くで見ることができ、良い経験になりました。